京都大学御中

授業評価システム



はじめに・・・

評価システムにおける進捗状況を下記の流れでご説明いたします。

ログイン画面

初期画面

シラバス設定画面

評価画面

教官コメント追記

結果画面

以上となります。

ログイン画面

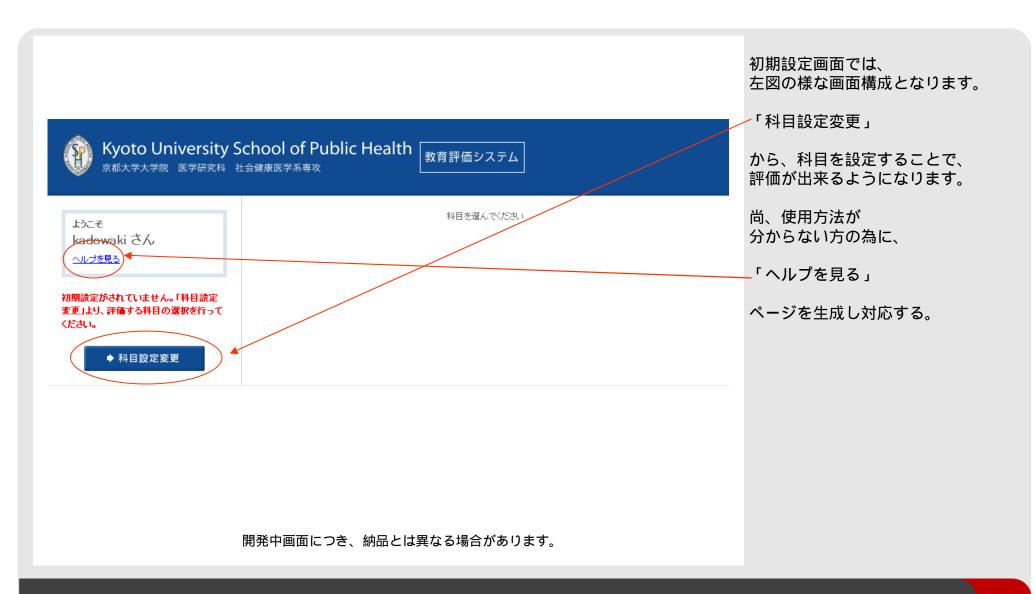


左図、ログインから、 ログインします。

ログインについての機能については、

新規登録の際に 学生IDを登録させることで、 学生以外の登録を防ぐことが出来ます。

初期設定画面



シラバス設定画面



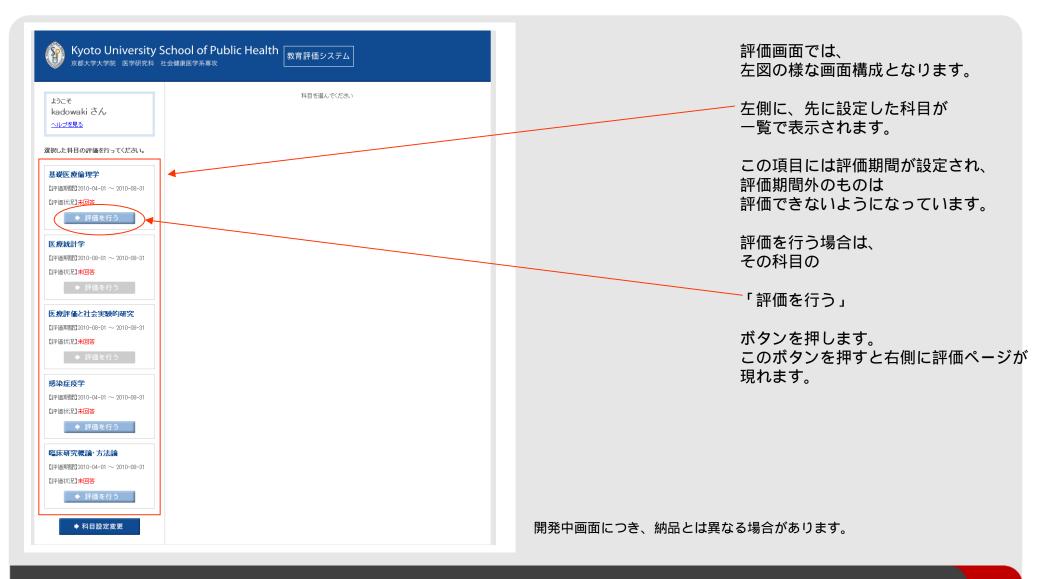
シラバス設定画面では、
左図の様な画面構成となります。

学生さんが受けている授業を 時間割から選んでチェックリストで チェックをして最後に

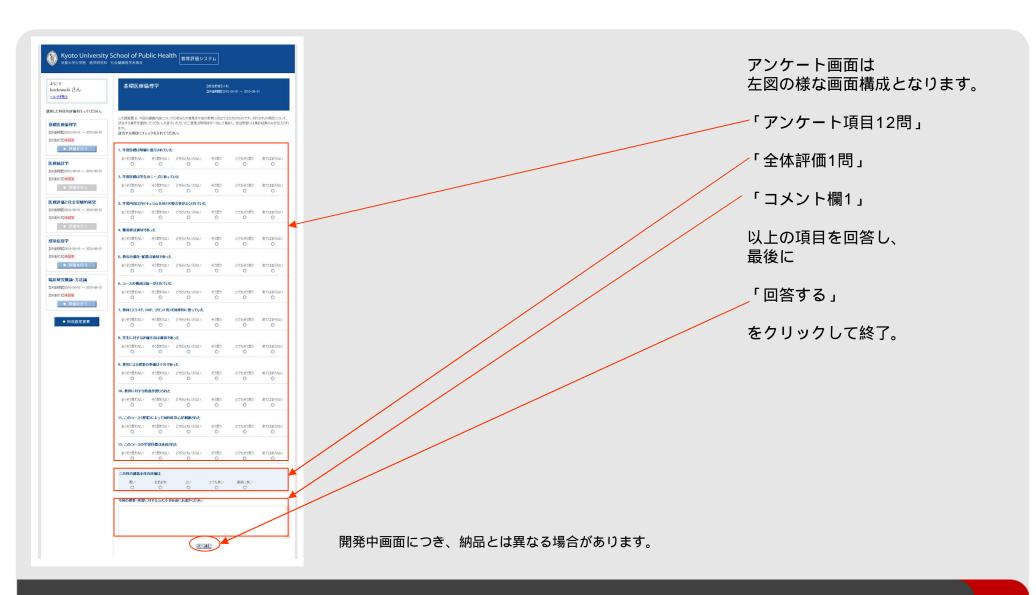
「登録」

します。 この段階で評価が可能になります。

評価画面(1)



評価画面(2)



評価画面(3)

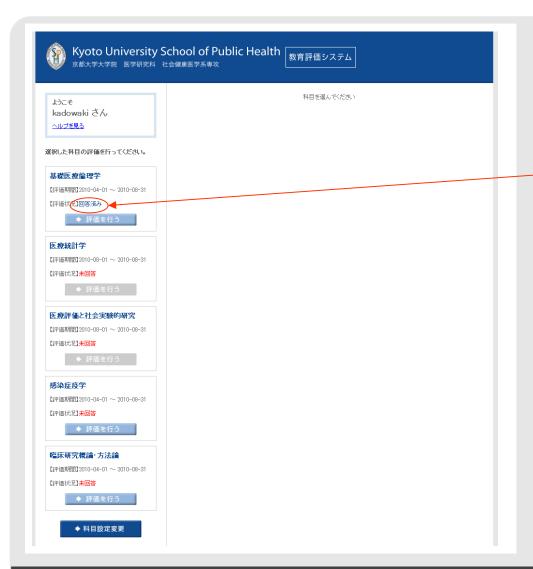
- 1、シラバスに記載された学習目標が達成されるのに十分な内容が提供されていた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 2、この授業の構成(授業の流れ、教員の配置、
- 統一性等)は適切であった
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 3、この授業の内容の難易度は適切であった
- ●適切であった
- ●どちらとも言えない
- ●易しすぎた
- ●難しすぎた
- ●あてはまらない
- 4、教育に対する熱意が感じられた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 5、学生が積極的に授業に参加するように配慮されていた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない

- 6、質問・要望が出しやすい状況が作られていた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 7、教材(スライド・プリント・OHP・ビデオ等)が効果的に使われていた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 8、説明がわかりやすかった
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 9、この授業によって学習意欲/好奇心が刺激された
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 10、質問・レポート等に対し学生に適切なフィードバックがなされた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない

- 11、学生を理解し尊重してくれた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 12、有益な知識・技術が得られた
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- 13、来年の学生にこの授業をすすめる(科目が必修、
- 選択に関わらずお答え下さい)
- ●とてもそう思う
- ●そう思う
- ●どちらとも言えない
- ●そう思わない
- ●全くそう思わない
- ●あてはまらない
- この科の講義全体の評価は
- ●非常によかった
- ●よかった
- ●まあまあよかった
- ●どちらともいえない
- ●あまりよくなかった
- ●よくなかった
- ●非常によくなかった
- ●あてはまらない

今回の授業・実習に対するコメントを自由にお書きください

評価画面(4)



回答後画面では、
左図の様な画面構成となります。

回答した科目については 評価状況が

「回答済み」

と変更になります。

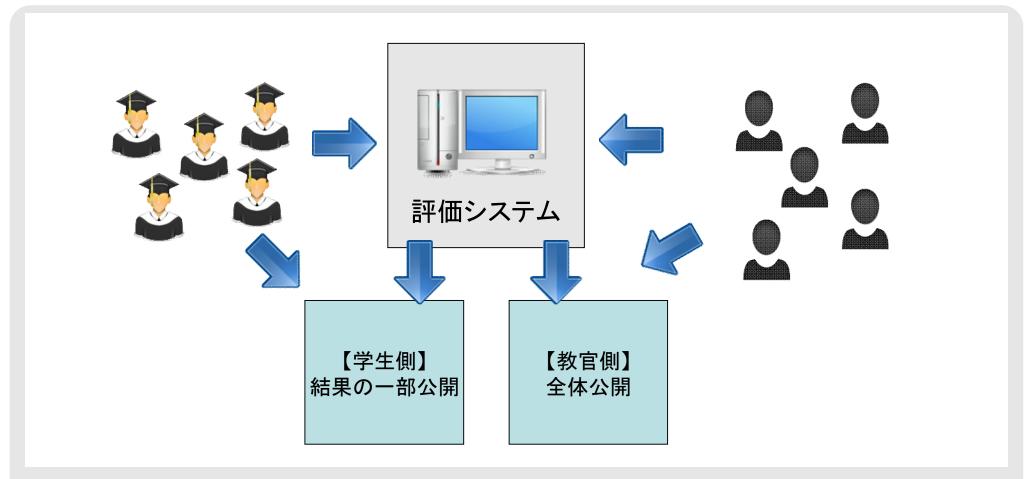
この評価状況を各科目において

「未回答」から「回答済み」

へ変更することで、 視覚的にも分かりやすい設定と なっております。

開発中画面につき、納品とは異なる場合があります。

教官によるコメント追記



コメント部分については、アンケート終了後、教官による追記期間を設け、学生側の一方的な評価にならないように工夫されています。 また、最終結果も、教官側は、13の設問、全体評価、コメント部分全てを共通で閲覧できますが、学生側には、全体評価とコメント 部分のみの閲覧とし、評価する側、される側に配慮したシステムとなっております。

結果画面

【学生側】 結果の一部公開

【教官側】全体公開



先にも述べた通り、学生側と教官側で得られる情報が異なります。これは、評価される側である、教官に配慮したもので、 コメント追記と同様の考え方から機能に組み込んだシステムとなります。

ありがとうございました。